

平成20(2008)年度
東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻
修士課程(社会情報学コース・一般選抜)
入学試験問題
専門科目
(平成19年8月22日 13:00~15:00)

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

1. 本冊子は、社会情報学コース・一般選抜の受験者のためのものである。
2. 本冊子の本文は5ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙は3枚ある。問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。なお、解答用紙のみが採点の対象となる。
4. 解答用紙の上方の欄に、問題の番号(例:「第1問」)、選択記号がある場合にはその記号(例:「第2問A」)及び受験番号を必ず記入すること。問題番号、選択記号及び受験番号を記入していない答案は無効とする。
5. 解答には必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用すること。
6. 解答は日本語によるものとする。
7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
8. 本冊子、解答用紙、草稿用紙は持ち帰ってはならない。
9. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号	
氏名	

社会情報学（一般選抜） 第1問

次の文章は、ウィリアム・J・ミッチェル『サイボーグ化する私とネットワーク化する世界』（渡辺俊訳、NTT 出版、2006 年）から引用したものである。この文章を読んで次の間に答えなさい。

機械の小型化には究極的に限界がある。最終的に（ナノテクノロジーで想像されるような）原子単位の組み立てにまで極まると、素粒子を作り出すための機械として原子それ自体を考えないかぎり、そこで終了せざるをえない。しかし、純粋な情報の製品は別の話だ。ビットは物質的下地からまったく独立しうるのだ。完全に非物質化した電磁エネルギーのパターンとして、保存し、再生し、転送できるのである。

この効果の一つが、（電子機器の小型化と相まった）記憶装置の圧縮である。今や、ほとんど想像もできない多量のデジタル情報を家電サイズのサーバー上に保存できる。そして、小型・軽量の携帯装置を身につけて、苦もなくライブラリー全体を持ち歩ける。例えば今なら、MP3 プレイヤーは、かつてレコード棚という形をとっていたさまざまな音楽ライブラリーを収容できてしまう。

第二の効果は、情報製品の性格を変容することである。デジタルなテキスト、イメージ、その他の人工物は、物質に埋め込まれた比較的重い従来のものとは違った振る舞いを始める。それらは非競争的資産になるのである。それらは使い尽くされもしなければ、共有のために分割されもせず、費用がかからず質を落とさず無制限に再生でき、贈与者の損失なく分配できる。したがって、もちろん知的所有権の協定が邪魔しないかぎり、普及、応用、創造的な革新のための再編成を大々的に支援できる。

情報の非物質化の第三の効果は、物流に革命をもたらすことである。速度や容量に厳しい限界がある物理的輸送システムに依存しなくても、ビットはワイヤーを通じて光の速さで送り込める。ネットワークの帯域幅が増えれば、さらに大量に送り込める。そしてインターネットが極めて劇的に証明してきたように、コンピュータの能力を、複雑な流れと転送プロセスの自動的な管理に利用できるのである。

そして、これらすべての組み合わせによる特に強力なさらなる影響は、情報の生産者と消費者の可動性を高めることである。ますます、欲しい物を欲しいときに携帯無線装置へとダウンロードできるようになる。反対に、移動中に作り出した製品もアップロードできるようになる。これは、固定した仕事場という考えに対するまさに挑戦なのである。

非物質化は我々を場所と物への隷属から解放し、間接的には場所と物を管理する人による支配から解放する。それは、肉体第一主義政権の土台を揺るがすことになる。それは、新しい権力の形態を構築すると同時に、権力に抵抗する新しい方法を提供するのである。

- (1) 下線部はどのようなことを述べているのか。「大学における教育」を例として下線部の意味を 400 字程度でわかりやすく説明しなさい。

- (2) ここで述べられている情報の非物質化、圧縮について、具体例として①本、②画像、③貨幣、のいずれか一つを取り上げ、現実社会での流れとその効果について、800字程度で説明しなさい。

社会情報学（一般選抜） 第2問

以下の（A）から（F）までの中から1問を選択し、選択した問題の記号を解答用紙に明記の上、答えなさい。

- (A) 近年、放送と通信の融合現象に対応した関係法の統合について議論が行われている。この状況を踏まえて、以下の（1）～（3）に答えなさい。
- (1) 放送と通信の融合現象の具体的な事例を500字程度で述べなさい。
 - (2) ありうる統合的な法制度の形について500字程度で述べなさい。
 - (3) そうした統合的な法制度のメリットとデメリットについて600字程度で述べなさい。
- (B) 先頃、国会では「日本国憲法の改正手続に関する法律案」（いわゆる「国民投票法」）が通過した。
- (1) 通過した法案では、マスメディアをどのように扱っているか。400字程度で簡単に説明しなさい。
 - (2) 国民投票が実施される際、マスメディアの利用および規制が争点になるのはなぜか。1200字程度で説明しなさい。
- (C) 合理的な政策決定について説明し、それが現実には必ずしも実現されない理由を、具体的な政策決定過程モデルをいくつか挙げながら、1600字程度で論じなさい。
- (D) 1990年代初めのバブル崩壊後、日本企業が抱えていた3つの過剰（雇用、設備、債務）は、2000年代半ばに至り、ほぼ解消したと言われている。
- (1) これら3つの過剰を日本企業はなぜ問題視したのか。3つの過剰それぞれについて、800字程度で論じなさい。
 - (2) 日本企業はこれら3つの過剰をどのように解消してきたのかについて、政府の果たした役割とその限界にも言及しつつ、800字程度で論じなさい。
- (E) (1) インターネット上の口コミの特徴を、face-to-face の口コミのそれと比較して、400字程度でまとめなさい。
- (2) 社会心理学研究における以下の< >内の概念の中から、2つ以上最大4

つを選び、それらを肯定的または否定的に利用して、インターネットのロコミの効果・仕組みについて説明を構成しなさい。また、その説明の問題点を指摘しなさい。その際、解答の冒頭で、利用する概念について簡単に説明すること（全体で1200字程度）。

<オピニオンリーダー 行動感染 ハブ 弱い紐帯 漏れ聞き効果
精緻化見込みモデル 社会的インパクト理論>

(F) 「事実」と「価値」の二分法について述べた次の文章を読み、以下の間に答えなさい。

この二分法[注1]の起源は、「存在から当為を導くことはできない」というヒュームのテーゼに遡るとされるが、古典社会学ではデュルケムとウェーバーが、前者は社会的な理念（価値）を客観的な存在（社会的事実）の一部として位置づけ、後者は価値の多元性を認めつつ行為における合理性と a.価値自由の概念を導きの糸にするというまったく違ったやり方ではあるが、しかしいずれもこの二分法を前提として、それぞれの理論を組み立てた。

(中略)

1960年代後半以降、この事実／価値の二分法への批判の声が高まった。1970年代初頭のグールドナーをはじめとして、ハバーマス、サール、科学哲学や科学的知識の社会学、b.「パーソナルな事柄はポリティカル」というフェミニストのテーゼ、c.フーコーの知識／権力論など、この二分法の方法論上の刺客には枚挙にいとまがない。事実と価値の区分が、私たちはエンピリカルな事実を「客観的に」、つまり「私たちの世界の知覚の中からあたかも人間の介在（presence）を除去できるかのように、こうした事実を知覚し知るのは特定の人間なのだ」という事実を『括弧に入れて取り外して』しまえるかのように」考える（Davydova and Sharrock 2003:358）[注2]ことを可能にする概念装置だったのだとすれば、d.そうしたポジティヴィスト流の「自然の鏡」を頼みにできなくなった研究者は、それでは、自らの学的いとなみの適正さや妥当性、意義、あるいは世界の中での位置をどのようにして確保することができるのか。

(中河伸俊「構築主義とエンピリカル・リサーチャビリティ」『社会学評論』第55巻第3号、2004年より)

[注1] 事実と価値の二分法のこと。

[注2] Davydova, I. and W. Sharrock, 2003, "The Rise and Fall of the Fact/Value Distinction," *The Sociological Review*, 51(3):357-76.

- (1) 下線部 a 「価値自由」について400字程度で説明しなさい。
- (2) 下線部 b 「『パーソナルな事柄はポリティカル』」というフェミニストのテー

ぜ」や、下線部 c「フーコーの知識／権力論」が、なぜ「二分法の方法論上の刺客」といえるのか。「フェミニストのテーゼ」、「フーコーの知識／権力論」のいずれか一つを選択し、600字程度で説明しなさい。

- (3) 下線部 d「そうしたポジティヴィスト流の『自然の鏡』を頼みにできなくなった研究者は、それでは、自らの学的いとなみの適正さや妥当性、意義、あるいは世界の中での位置をどのようにして確保することができるのか」という問に対するあなた自身の解答を、本文に書かれている学説史的背景を念頭に置きながら、600字程度で述べなさい。

社会情報学（一般選抜） 第3問

以下の (a) から (f) までの6つの群から1つの群のみを選択し、選択した群のアルファベット記号 ((a) ~ (f)) を解答用紙に明記の上、その群に列記されている5つの用語のうち3つを選択して、選択した3つの用語の意味を、そのカナ記号 ((ア) ~ (オ)) とともにそれぞれ400字程度で説明しなさい。

- (a) (ア) 名誉毀損の免責
(イ) 取材源の秘匿
(ウ) 著作権保護期間の延長
(エ) パブリック・フォーラム
(オ) 法人の「人権」
- (b) (ア) 反ポルノグラフィ公民権条例 (Catherine MacKinnon)
(イ) やらせ
(ウ) ゲートキーパー理論
(エ) 「風流夢譚」事件
(オ) J・デューイ (John Dewey) の「パブリック」概念
- (c) (ア) エリート民主主義論
(イ) デュベルジェの法則
(ウ) ロールズ (John Rawls) の正義論
(エ) 核抑止論とミサイル防衛
(オ) 国際レジーム論
- (d) (ア) コースの定理
(イ) しつぺ返し戦略
(ウ) トービンの q

- (エ) クラウディング・アウト
- (オ) PDCA サイクル

- (e) (ア) インターネット中毒
- (イ) アナウンスメント効果
- (ウ) キャリーオーバー効果
- (エ) コミュニケーションにおける相互信念 (mutual belief)
- (オ) 話者交替システム (turn-taking system)

- (f) (ア) 近代家族
- (イ) 遠隔地ナショナリズム
- (ウ) 部分的イデオロギー／全体的イデオロギー
- (エ) G・H・ミード (George Herbert Mead) における「I」と「me」
- (オ) 誇示的消費 (conspicuous consumption)